







AIM NEWS LETTER

2015
vol.1

発行日 2015年4月1日

CONTENTS

-  2015年度「CoursePower」の運用変更について
-  授業支援システム「CoursePower」利用説明会のご案内
-  Cisco ネットワーク講習会について
-  映像収録・動画配信サービスについて
-  2015年度新規導入 出席確認ツール「かいけつ出席」貸出サービスについて
-  ICTを活用した語学学習環境の紹介

発行



2015年度 「CoursePower」 の運用変更 について

「CoursePower」は、オンラインでの資料配布、レポート回収、お知らせ発信等の機能を持ち、授業運営の負担を軽減し円滑な進行をサポートする授業支援システムです。AIMは利用者のニーズやその利便性を向上させるため「CoursePower」の運用方法の改善に努めています。ここでは2015年度からの運用変更点についてお知らせします。



第1週目の授業から「CoursePower」をご利用いただけるようになりました。

4/2(木)から履修確定までの毎日(日曜・祝日を除く)、「CoursePower」の講義の受講者を履修情報に基づいて登録・削除します。このため、「仮登録」機能をお使いいただかなくても第1週目の授業から「CoursePower」をお使いいただけるようになりました。尚、教員が直接登録した受講者や「仮登録」機能により登録された受講者は履修情報とは連動していないため削除されませんのでご注意ください。

教員にも「受講者」の役割が付与されました

この度、各種会議や研究活動などで「CoursePower」を便利に使って頂けるよう、全教員に「受講者」の役割を付与しました。それにより、ログイン時に役割を選択する画面が表示されるようになりました。授業でお使いになる場合は「教員」を、「CoursePower」の機能を紹介するデモ講義にアクセスする場合や、教授会資料などで情報共有に使われる場合は「受講者」をお選びください。なお、画面上部の「役割変更」をクリックすることで、ログアウトすることなく役割を変更できます。



授業支援システム 「CoursePower」 利用説明会 のご案内



「CoursePower」を初めてお使いになる方に向けた利用説明会を右記のスケジュールで開催します。事前申込みは不要ですので、参加を希望される方は当日教室まで直接お越しください。

説明会内容

- ・授業支援システム「CoursePower」の使い方
- ・出席確認ツール「かいつ出席」の紹介

青山キャンパス

4/6(月)
15308 教室
1回目 13:00-13:30
2回目 13:30-14:00

4/8・9・10(水・木・金)
1110 教室
12:40-13:10

相模原キャンパス

4/3(金)
B303 教室
16:00-16:30

4/13(月)
B405 教室
12:40-13:10

4/17(金)
B405 教室
12:40-13:10



Cisco ネットワーク 講習会 について

Cisco ネットワーク講習会

Cisco ネットワーク講習会とは、ネットワーク技術者育成支援を目的としたプログラムです。1年間を通じた講義と実習により、ネットワーク技術者に要求される知識と技術が身につく本格的なカリキュラムを開講しています。2015年度は5月以降に開講を予定しています。詳細が決まり次第、情報メディアセンター Web サイトにてご案内させていただきます。

2014 年度受講者数
前期 全10回：23名
後期 全8回：8名
自学自習コース：6名



受講者の体験談

理工学部 情報テクノロジー学科 3年
加藤康介さん

ネットワーク講習会は、大きく分けて座学と実技の2段階構成でした。まず初めに、座学では基本的な機器の名称や2進数の計算の仕方などの初歩的なことから、サブネットマスクの計算など、少し難易度の高い知識を学ぶことができ、僕の場合は学科の講義で習った知識を再確認して、実技に向けてネットワークの知識を身に付けることが出来ました。先生が受講者の理解度を節目ごとに確認して、それに合わせて講義を進めていってもらえ

たので、ネットワークの知識があまりない方でも取り残されることはないと思います。

実技では、講義のはじめに全体の実習内容の説明があり、講義資料を読みつつ隣の人と相談しながら、どうしてもわからない時には先生に質問をして実習を進めていきました。基本的には座学の知識を踏まえて実習が行われるので、講義前に実習の範囲の知識を復習して毎回演習に臨みました。講義を受けている人たちは皆さん真剣な眼差しで実習に取り組んでいて、自然とのめり込んでいきました。でも、決してお堅い雰囲気ではないので、とても楽しく有意義な時間を過ごせました。



映像収録・動画配信 サービスについて

AIMでは映像収録・動画配信サービスを通して、授業配信や映像教材の作成といった教員個人では準備することが難しい、リッチな教育環境を提供しています。授業支援システム「CoursePower」から動画を配信したり、DVDに加工したりと、様々な利用形態に応じた映像コンテンツを制作しています。

詳細はコチラから

<http://www.aim.aoyama.ac.jp/mediasite/>

映像収録・動画配信サービスの流れ

申請書の提出

窓口 or メールで受け付けています。
申請内容によっては別途、ヒアリングを行わせていただく場合があります。



撮影

申請内容に基づき撮影を実施します。



編集

申請内容に基づき編集を実施します。



配信・納品

「CoursePower」上での配信やWebコンテンツとして利用するためのURLなどが選べます。またDVD等のメディアでの納品も可能です。



2015年度新規導入

出席確認ツール

「かいつ出席」
貸出サービスについて

受講者が学生証をかざすことで簡単に出席データを取得できる携帯型カードリーダー「かいつ出席」貸出サービスを開始します。詳細や申し込みの申請は下記URLをご覧ください。サポートラウンジにお問い合わせください。なお、「CoursePower」の利用説明会でも実機を使ったデモを行います。お気軽にご参加ください。

詳細はコチラから

<http://www.aim.aoyama.ac.jp/rental/kaiketsu/>



ICTを活用した 語学学習環境 の紹介

本学のPC教室のうち、青山キャンパスの13教室、相模原キャンパスの8教室が語学学習に対応したCALL教室です。CALLとは”Computer Assisted-Language Learning”の略です。フルデジタル方式のCALLシステムを採用し、音声・映像教材の一斉配信やe-Learningなどの学習機能を備えています。CALLシステムを利用した英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・中国語・ロシア語・韓国語などの語学授業のほか、マルチメディア関連科目の授業でも活用されています。

CALL教室の使用については、青山キャンパスは学務部教務課、相模原キャンパスは学務課にご依頼ください。

なお、相模原キャンパスでは、2015年4月より3教室を新たにレイアウト変更し、計7教室が学生PC卓を島型に配置



した教室となります。各教室6人1組の対面式島型が6グループあり、定員36名です。このCALL教室を利用した学生主体の「アクティブラーニング」を通して、ディスカッションやスピーチ、プレゼンテーションを相手の顔を見ながら行うことができます。また、グループ学習やプロジェクト学習がよりスムーズに、躍動感のある授業が可能になります。

CALL教室操作講習会について

CALL教室に導入されているCALLシステム(CaLabo EX)及び周辺機器の操作講習会を毎年4月初頭に開催しております。詳細は、外国語ラボラトリーWebサイトでご確認ください。

外国語ラボラトリー

<http://www.agufll.aoyama.ac.jp/>

お問い合わせ

情報メディアセンターでは授業支援システムの利用に限らず、授業支援に関するお問い合わせを常時受け付けております。

窓口 情報メディアセンターサポートラウンジ

青山キャンパス

| 2号館1階 | 9:00-21:00 月-土 | 03-3409-7850 (内線 12201)

相模原キャンパス

| B棟4階B426 | 9:00-20:00 月-金 | 9:00-16:00 土 | 042-759-6047 (内線 46047)



contact@aim.aoyama.ac.jp



情報メディアセンター Web サイト最下部 より
※ ユーザーIDとLDAPパスワードによる認証が必要です。

学内のICTに関する最新の情報は
情報メディアセンターのホームページまで

www.aim.aoyama.ac.jp

